

IV・支柱の管理

支柱替わりに、立木を使用している施設は、大雨・台風などの後、最初に使用するときは、特に注意が必要です。線路沿いの立木と合わせ点検して下さい。

近年、檜の木は「カシノナガキクイムシ」による立ち枯れが問題視されています。立木の根元の点検を行って下さい。

VI・通路・線路・安全柵用のロープ

通路・線路中の支障木・枝等は毎日その状態が変化するので、細心の点検が必要です。必要に応じ枯れ木・枯れ枝の除去等が必要です。線路中心線より左右各1.5m以内にある支障木はロープが振れた場合衝突する危険があるので好ましくない。

VII・主要部材の管理

⑥支柱等木部

維持管理の方法及び使用頻度・乗車方法・天候(風・気温・風雪等)等の使用条件により、トラブルの発生する確率は大きく異なることを認識の上での管理をお奨めします。また点検結果の記録・保存は維持管理の中でも重要で、部材の交換の目安となり、その資金計画に必要で有ると共に、万一有事の際は重要な証拠書類となる事は否定出来ません。

ZIPLINE ADVENTURE 設計標準

11, 立木の利用検討

支柱等に使用する立木は、松枯れ(松材せんちゅう)・ナラ枯れ(カシノナガキクイムシ)などの被害で出ている区域では、赤松・ミズナラ等ナラ属は使用しない。

使用する立木の根株強度は幹の径より判断する。但し、幹径等から判断し樹齢の高い物は樹芯が空洞科している事が有るので強度的に適さない。この際、根張りも地質により影響するので考慮する。

【支柱用に適さない木】

- :ナラ枯れ・松枯れ発生区域のナラ類、松。
- :急傾斜・急崖の側に立つ木及び間伐等手入れの行き届いていない木並びに地質が砂礫等主で根張りが良くないと推定される木。
- :直径が1mを越え、樹齢が数百年等の老木で樹芯が空洞化している可能性の有る木。
- :樹勢が劣る木及び根元が周囲の造成等で埋まっている木。
- :宿り木のある木

ZIPLINE ADVENTURE 日常点検(項目ひな型 抜粋)					
【点検表記載必須事 ①コース名称②点検日時及び天候③点検実施者氏名④管理者承認⑤当該コース開設年月日及び使用年数					
点 検 項 目		始業点検	週毎或いは月次点検	年次点検	
起点部	立木の場合	樹勢	○	○	○
		保護材の状態		○	○
線路		安全柵設置等、安全対策の状態	○	○	○
		枯れ木・支障木の有無等	○	○	○
終点部	立木の場合	樹勢	○	○	○
		保護材の状態		○	○